

実践技術者基礎問題集 居住系

発行日：2013.2.25

書籍紹介

本問題集は職業能力開発 大学校や産業技術短期大学校等で理論と実践の両輪を学んでいる学生のみなさんのために、(社)実践教育訓練研究協会が編纂したものです。みなさんが近い将来、一人前の実践技術者として産業界の各方面で活躍していただけるために、学んだ知識・技術・技能の習得度や理解度を自分で確認できるように編集いたしました。

全国の職業能力開発施設で学ぶ実践技術者を指すみなさんに補助教材として、是非ともご活用いただきたいと思っております。

また、本問題集は出題分野も幅広く専門課程(短期大学校課程)の修了時に行う技能照査の学科試験の練習問題として適当な内容となっております。さらには、技能検定試験の学科問題の1、2級レベルの問題も数多く含まれています。学生のみなさんに限らず、教育訓練担当の方々にも各方面、各分野でお役立ていただければ幸いです。

特徴

学科試験

- ①真偽法による問題としています。また問題例数は、全体で300問を例示。
- ②「専門課程標準カリキュラム集・居住システム系」の「建築科および住居環境科の履修科目及び単位表」に記されている科目を学科試験の範囲として作成。
- ③各問題の正誤と解説を示すことで学生が自主的に学べます。
- ④難易度は、技能検定での学科免除であることを考え、技能を裏付ける知識を問うことを主眼に作成。

目次	内容
1. 技能照査受験	学生へ技能士補や技能士の解
2. 学科試験問題	300問を掲載。標準カリキュラムの単位数を考慮して計画系、構造系、材料系、施工系、環境設備系、安全系、情報系に配分し、全体を網羅している。
3. 解答と解説	正誤に加え、解説を加えることで、学生が自主的に取り組めるようにしている。
4. 実技問題	製図課題と大工課題を収録。製図課題は、木造住宅とし4時間と7時間30分の2課題、大工課題は土台隅角部(4時間)と小屋組(7時間30分)で計4課題を収録しています。
5. 実技解答および採点基準	製図課題および大工課題すべてに採点基準を準備してあります。また、製図課題は模範解答を掲載しています。
6. 技能照査の実施者および受験指導の皆さまへ	この問題集を作成するにあたっての法律的な根拠や問題作成の趣旨を示しています。また、労働省職業能力開発局長からの通達文書「専門課程の高度職業訓練の技能照査の基準の細目について」「技能照査実施要領」を掲載しています。



・技能士補と技能士

技能士補は、卒業前に実施される技能照査合格者に付与される(職業能力開発促進法第21条)。技能士補には、技能検定試験の免除(一部または全部)が規定されている(職業能力開発促進法施行規則第66条)。技能士は、技能検定試験に合格した者に付与される(職業能力開発促進法第50条)。特に建設業界においては、建設業を営もうとする場合、国土交通大臣又は都道府県知事の許可を得なければならない。それには、営業所ごとに一定の資格がある専任者を置く必要があるが、建設業に係る1級及び2級の技能検定合格者については、他の国家資格と同様に、その有資格者として認められている。

実技試験

- ①実技系の代表的なものとして「製図課題」と「大工課題」を例示。
- ②実技試験問題例は、4時間+延長30分と7時間30分+延長30分を想定し、製図、大工課題ともに各2問を収録。
- ③標準カリキュラムの時間のみ受講した学生が取り組める課題として作成。

問題の提供

- ①技能照査受験者数の購読を条件に、問題の電子データを提供。